

平成25年第6回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	10番	小宮國暉 (60分)	<p>1. 羽村駅自由通路の拡幅に向けて</p> <p>(1) J Rの財産である羽村駅自由通路の拡幅は、J Rとの間で協議が重ねられていると思われるが、これまでの交渉過程は。</p> <p>(2) 自由通路に設置されている売店（キオスク）を改札内へ移転していくための予算が措置されているが、移転が進まない要因は何か。</p> <p>(3) J Rとの交渉は既に10年近くになるが、羽村市としての今後の取り組みと見通しをどう考えているか。</p> <p>2. 自転車駐車場の現状と整備促進に向けて</p> <p>(1) 現在、市で設置している自転車駐車場の設置数及び収容台数は何台分あり、駐車台数に対して足りているのか。</p> <p>(2) 現状の羽村駅東口の小作寄（長岡街道に面した）駐輪場について、整備すべき点をどう認識しているか。例えば、路面上のブロック仕切りの撤去や街灯照明の設置、横断歩道の設置等が、より安全性を高めるために必要と考えるがどうか。</p> <p>(3) 羽村駅西口周辺に設置されている自転車駐車場について、先日、羽村駅西口区画整理事業の換地設計案が示されたが、市は今後どのように設置、運営を考えているか。</p> <p>(4) 羽村市自転車駐車場等に関する検討会の結果報告について、どのような対策を取ったか。また、検討会の報告を含め将来に向け、市内全域の自転車駐車場の運営方法や有料化等について、市はどのように考えているか伺う。</p>	12月3日
2人目	6番	大塚あかね (60分)	<p>1. 「はむりん」をどのように活かしていくのか</p> <p>(1) 「ゆるキャラグランプリ 2013」にエントリーしての総括を伺う。</p> <p>(2) 「はむりん」の今までの活動について</p> <p>①費用対効果について。</p> <p>②市民の認知度はどの程度なのか。</p> <p>③市外からの認知度を高めるために、どのような活動を行ったか。</p> <p>④はむりんは「水・桜・緑」が魅力であり全国にPRしていく」と語っているが、ペットボトル「水はむら」のパッケージに「はむりん」が使用されないのはなぜか。</p> <p>⑤地域活性化にどのように役立てられたか。</p> <p>(3) 「はむりん」の今後の活動について</p> <p>①マネジメントは今後も企画政策課が担当するのか。</p>	12月3日

3人目

4番

富 永 訓 正
(60分)

- ②羽村シティプロモーション会議が発足した際にはその中の予算で、「はむりん」の経費は計上されていくのか。
- ③著作権、商標登録はどのようになっているのか。
- ④ロイヤルティはとるのか、それともロイヤルティ・フリーにするのか。
- ⑤関連商品の開発は検討されているのか。
- ⑥各種団体（町内会・自治会、保育園、幼稚園、学校関係、老人クラブ連合会等）から出動依頼があった場合のルールは定められているのか。
- ⑦今後の活動方針・活動計画について。

2. 年間を通じて花が楽しめる街づくり

- (1)秋の観光の目玉として多摩川土手の曼珠沙華を、取り上げてはいかがか。
- (2)現在、公園に植えられている季節の花を紹介すると共に、植えられていない公園には新しい花を植栽し「はむら花暦」（仮称）の作成を考えてみてはいかがか。

3. イクメン（子育てパパ）に更なるエールを！

- (1)市役所内の男性の育児休業取得について
 - ①平成24年度、平成25年度現在の男性の育児休業取得はどのような状況か。
 - ②今後、男性職員が子育てしやすい環境づくりをどのように図っていくのか。
- (2)市内事業所に対して、イクメン（子育てパパ）支援情報をどのような形で提供しているのか。
- (3)男性が積極的に子育てに関わり、ひいては子育てママ支援につながるまちづくりをどのように進めていくのか。
- (4)「イクメン」「イクジイ」を応援し、家族で楽しめ、情報交換などもできる交流会を実施してはいかがか。

1. 市民が楽しみながらできる健康維持について

- (1)市民の健康づくりへの効果が期待できる、「健康マイレージ制度」について
 - ①市はどのような認識、考えか。
 - ②羽村市版「健康マイレージ」制度の導入を検討してはどうか。
- (2)介護支援に関わるボランティア活動を行った高齢者の方への「ボランティアポイント制度」について
 - ①市はどのような認識、考えか。
 - ②高齢者ボランティア活動の支援の具体的な取り組みはどのようになっているか。
 - ③現在までどのような議論がなされ、どのような方向性を得たか。
 - ④羽村市版「ボランティアポイント」制度の導入を検討してはどうか。

12月3日

4 人目

16 番

船 木 良 教
(60 分)

2. 「災害時要援護者」の避難対策について

- (1) 現在までの「災害時要援護者」名簿への現在の登録者数、登録推進への取組み状況を聞く。
- (2) 登録を希望しない方や未回答の方への今後の対応と登録推進への考えを聞く。
- (3) 自主防災組織のさらなる充実を含めた支援体制について考えを聞く。

1. 経年劣化している公共資産の検証と効率的な運用について

- (1) 公共資産改革の核と考える資産台帳の整備
 - ① 全資産を一元管理する資産台帳の現状はどうか。
 - ② 資産台帳のデータベース化はいかがか。
 - ③ 資産管理の中で問題となる施設はあるか。
 - ④ 運用の課題はどうか。
 - ⑤ 必要性や管理形態のあり方を、費用対効果の面で客観的に評価していく必要性はあるかどうか。
- (2) 借地・市有地の有効活用や返還について
 - ① 相続の発生で返還もあると考えるが、いかがか。
 - ② 返還と維持の財政的影響はどうか。
- (3) 羽村駅西口地区の都市基盤整備について
 - ① 羽村駅西口地区の都市基盤整備はどのような考え方に立って有効活用するのか。
 - ② 平成 26 年度に策定する「公共資産総合計画」で、公共施設の資産運用を図る基本的な方針は。

2. 小作台 5 丁目の市営住宅跡地に、多目的施設の早期実現を望む

- (1) 待ち望まれている多目的施設の建設
 - ① 前議会の、その後の取組みや進捗状況はいかがか。
 - ② 公共資産改革としての施設整備はいかがか。
 - ③ 規模や設備で予算も変わると考えるがいかがか。
 - ④ 問題は建設に向けた行政のスピード（素早い対応）と考えるが、今後の考えや計画はいかがか。

12 月 3 日

5 人目

3 番

中 嶋 勝
(60 分)

1. さらに親しまれる童話の動物公園に

- (1) 指定管理となり童話の動物園として人気を博している羽村市動物公園だが
 - ① 過去 5 年間の入場者数推移を聞く。
 - ② 今後の入場者数の目標とそのための方針を聞く。

12 月 3 日

(2)さらなる充実へ4年間の指定管理における業務計画の実行は望むところだが、その先将来に向けての動物公園に対する展望を市はどのように描いているのか伺う。

(3)お客様目線は非常に大事である。その視点に立ったお客様が喜ぶような改善を望むが

①動物を間近で、しかも多角度から見るができるような工夫を凝らしている動物園が増えてきた。これらの取組みについて市はどう考えているか。

②好評の童話シリーズ、6か所目の予定またさらにその先の予定を聞いているか。

③スタディルームや芝生広場でのイベント等活用の充実を望む声があるがいかがか。

④軽食処、売店のリニューアルとお土産品等の見直しも望む声があるがいかがか。

⑤障がい者や高齢者等から入口付近に乗降用のスペースが欲しいとの声がある。設置を考えてはどうか。

⑥バリアフリー、ユニバーサルデザインの考えをさらに進めて欲しいと思うがどうか。

⑦園内に募金箱（基金箱）を設け、動物や施設のための募金を入園者に協力してもらっている動物園がある。このような考えはあるか。

(4)羽村駅からの導線の充実について

①駅周辺の充実、特に国体用看板を動物公園用に再利用できないか。

②はむらんや立川バスを利用する際、分かりづらいつらいとの声を聞く。改善を望む。

(5)消費税が8%、そして10%に上がることで飼料費等経費に影響が出ると思うが、入園料の改定はあるのか。

2. 悪質業者から市民を守れ

(1)オレオレ詐欺等の振り込め詐欺、いわゆる「母さん助けて詐欺」が横行していると聞く。市内における近年の被害件数と金額を聞く。

(2)その他、新たな手口の悪質業者が増えてきた。どんな手口があるか。

(3)羽村市消費生活センターにおけるそれらの詐欺や新たな手口による被害相談について

①相談件数はどれくらい寄せられていてどのような傾向があるか。

②それら悪質業者への対応を聞く。

③怪しい相手からの迷惑電話を防止できる機器があるが、市民へ貸し出しできないか。

④相談者は市民だけではない。逆に市民が他の自治体で相談しているケースもある。近隣自治体との情報交換、連携を密にすることが望ましいと思うがいかがか。

(4)市民はもとより特に被害が多いと言われる高齢者及び高齢女性への情報提供や周知、騙されないための講座等の教育や啓発のさらなる充実

6 人目

7 番

西 川 美佐保
(60 分)

を望むがいかがか。また逆に被害にあった、あるいは電話を受けた市民からの情報提供も必要と思うがどうか。

(5) 近年複雑、巧妙化している悪質業者の手口から市民を守る事業として、消費生活センターは重要な役割をしている。今後、益々対応が求められることも鑑み、総合的にさらにもう一重当センターの充実が必要と思うが、市の考えを聞く。

12 月 4 日

1. 障がい者福祉事業と就労環境の拡充を

(1) 障がい者の就労に対し、市はどのように支援策を推進しようとしているのか伺う。

(2) 「障がい者優先調達推進法」が施行されたが、市内で該当する事業所はあるのか伺う。

(3) 精神障がい者の施設の充実について

① 地域の精神障がい者の作業所の就労ニーズに対し、定員に余裕があるのか現状と将来の見通しを伺う。

② 老朽化が心配される施設に対し、社会福祉法人から声が上がっているのか。

③ 障害のある方から仕事の多様化を求める声がある。庁舎のなかでパンやクッキーなどを作り、そのままカフェのようなコーナーで販売できる場所を設けている自治体もあるが、製造販売や市民と交流できる場の確保を市は支援する考えはないか。

(4) 知的または身体障がい者のための施設の充実について

① 就労移行支援や就労継続支援 B 型の定員枠に余裕はあるかなど、社会福祉法人からどのような声を聞いているのか伺う。

② 現在市内事業所からの協力を得て、順調に運営されていると聞いているが、福祉作業所をさらに増やす必要性など社会福祉法人から聞いているのか伺う。

2. 地域社会で子育てを支える体制を

(1) 産み育てやすい環境を整備し、地域社会で支えていくべきとの観点で以下質問する。

① 今後の少子化対策に向けた、出産育児一時金を、50 万円に拡充してはどうか。

② 特定不妊治療費の市の助成金をさらに拡充してはどうか。

(2) ひとり親世帯の支援について

① 所得が一定以下の世帯に、生活保護になる前の安全網の整備の体制として家賃補助などの支援が必要ではないか。

② 非婚のひとり親世帯の支援として、寡婦控除の対象と仮定し、市営住宅家賃、保育料などの額を決める「みなし適用」の導入を行ってはどうか。

7人目

12番

石居尚郎
(60分)

(3) 商工会との連携について

①子育て世帯が地元商店で買物しやすい環境を整備するための特典などをつけた「子育て支援カード」の導入を商工会と連携して、情報発信も合わせ推進してはどうか。

②少子化対策と商店活性化として、「婚活支援」を定期的に行えるよう市も協力してはどうか。

(4) ワークライフバランスを今後どのように進めていくのか伺う。

1. 読書活動推進の強化を

(1) 読書活動を推進していく意義と目的をどう捉えているか。

(2) 赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心ふれあう時間を持つきっかけを届ける、ブックスタート事業の充実について

①現在進めているブックスタートの事業概要と成果を聞く。

②本を継続的に親しんでもらうため、ブックスタートのフォローアップ事業として、セカンドブック・サードブック制度を、新たに立ち上げる考えはあるか。

(3) 各児童館における読書活動と本の蔵書の現状を聞く。

(4) 小中学校の読書活動の推進はどのように図られているか。各学校の現状と課題を聞く。

(5) 図書館と学校図書館のネットワーク化は、市の実施計画に明記されているが、計画通り推進していくのか。

(6) 学校図書館の充実について聞く。

①図書館司書を巡回から常駐にする考えはあるか。

②児童・生徒に楽しく、有効に学校図書館を活用してもらうためにも、学校図書館の開館時間の拡充をすべきではないか。

③放課後の活用について検討していることはあるか。

(7) 図書館協議会の答申と今後の図書館充実について聞く。

①どのような評価があったのか。

②課題をどうとらえ改善し、今後図書館をどのように充実させていくのか。

③図書館司書などの専門性を持った館長や職員の体制が望まれる。1・2年という短期間で館長が交代している現状を改善し、継続的に図書館行政に関わる体制を整える必要性をどう認識しているか。

④民営化や指定管理の導入について、長所・短所をどう捉えているか。

12月4日

8 人目

8 番

橋 本 弘 山
(60 分)

- (8) 図書館分室の考え方について聞く。
- ① 事業仕分けの対象とした背景と、仕分け結果と、今後の市の対応は。
 - ② 分室を民間との連携で、地域の読書推進の場として充実させていく方法もある。
(ア) 例えば、富士見平分室はマミーショッピングセンター内に移しては。
(イ) 例えば、川崎分室も、近隣もしくは羽村駅西口付近の民間施設を活用しては。
 - ③ 小作台図書室と加美分室の今後のあり方をどのように考えているのか。

2. 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術の助成制度について

- (1) 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術の助成制度創設に向けて、市が取り組んできた活動経過と今後の実施予定について聞く。

1. 気象情報の収集と伝達について

- (1) 警報、注意報の気象情報について
- ① 警報、注意報の定義は。
 - ② その情報提供はどのように行なわれるか。
 - ③ 過去 5 年間に羽村市に発令された警報、注意報はどのくらいあるのか。
 - ④ それに対する市の対応と市民への周知、警戒、注意の喚起はどのように行なっているか。
 - ⑤ 学校、幼稚園、保育園、学童保育施設等への周知とそれぞれの対策はどうなっているか。
- (2) 新たに設定された「特別警報」について
- ① 警報、注意報と何が違うのか。
 - ② 市内に計測地点は存在するのか。
 - ③ 西多摩地域での計測地点はどのようになっているのか。
 - ④ 市民への「周知義務」を受けて、どう市民に迅速に周知し、避難を促していくのか。
 - ⑤ 地域防災計画にどのように反映させていくのか。
 - ⑥ 羽村市内で特別警報が発令される状況はどのような災害を想定しているか。
- (3) 今後、様々な気象情報に対して、その収集と市民への伝達や、警報発令時の市民対応マニュアル等も重要になってくると思われるが市の考えは。

2. 崖線（里山）の緑の保存について

- (1) 緑の基本計画の策定の進捗状況は。
- (2) 羽村市におけるこの 10 年間の緑被率の推移は。
- (3) 羽村市における保存樹林地のこの 10 年間の推移は。

12 月 4 日

- (4)羽村市における崖線保存林の個人所有の割合はどうなっているのか。
- (5)東京都と8市で構成する多摩川由来の崖線の緑を保全する協議会について。
- ①その立ち上げの目的と主旨は。
 - ②各8自治体の役割は。
 - ③東京都の役割は。
- (6)崖線の緑の保全の今後の課題は何か、それに対してどう対応していくのか。
- (7)公有資産総合計画の策定を急ぐべきであり、その策定に市民の要望等も念頭に置くべきと考えるがいかがか。

3. 平成26年度の予算編成方針について

- (1)平成26年度予算編成にあたり、市の基本的な考え方は。
- (2)平成26年度予算の財源の動向と財源確保について
- ①市税収入の見込みは。
- (3)消費税率引き上げによる影響について
- ①地方消費税交付金の分配率と交付金の額はどう変わっていくのか。
 - ②地方交付税への影響はどうなるのか。
 - ③自動車取得税と自動車重量税の見直しの検討は行われるのか。
 - ④固定資産税の軽減は行われるのか。
 - ⑤一般会計予算への影響はどのくらいあるのか。
 - ⑥扶助費はどのように変化していくのか。
 - ⑦施設使用料等にもコストに消費税相当額が算入されていると思うが、料金改定は考えられるのか。
 - ⑧この他、消費税率引き上げに伴うデメリットは何か。
- (4)平成26年度予算で特筆すべき具体的な事業施策はあるのか。

9人目

2番

富松 崇
(50分)

1. 携帯電話やインターネットによるいじめや犯罪から子ども達をどのように守るかについて

- (1)市内の小中学校で携帯電話を持っている児童・生徒の数、また家庭でインターネットを利用している児童・生徒の数は把握されているか。
- (2)今まで児童・生徒が携帯電話やインターネットを利用した、いじめや事件に巻き込まれた事例はあるか。
- (3)携帯電話やインターネットを利用することで起こるかもしれない、いじめ等のトラブルや事件に巻き込まれる可能性がある事を、学校ではどのように指導しているか。

12月4日

10 人目

5 番

鈴木拓也
(60 分)

- (4) 保護者に対しての情報発信はどのように行っているか、またどの位の頻度で行っているか。
- (5) 市内の全教職員に対して、情報の共有や各種研修会への参加などはどのようになっているか。
- (6) 教育委員会の組織を活用して、全国で起こっている事例を保護者へ知らせて注意喚起する事が必要だと思うが、教育委員会の考えは。
- (7) 市内の小中学校から全ての事象が報告されているか。

2. 学校ホームページの充実について

- (1) 第 5 次長期総合計画の実施計画にあるホームページの活用支援の計画では 24 年度から更改、26 年度から運用・管理とあるが、現在の小中学校のホームページはリニューアルされているのか。
- (2) 小中学校のホームページを更新する担当は、誰が行っているのか。
- (3) 各学校でホームページの構成に違いがあるが、ある程度はルールを作り、共通した情報を掲載すべきだと思うが、どのように考えるか。
- (4) ホームページの作成は技術や時間も必要だと思うが、作成の支援は教育委員会で行っているか。
- (5) 市でも導入している CMS (コンテンツ・マネジメント・システム) に学校専用ホームページ管理システムがあるが、導入の考えは。
- (6) 先日も一中吹奏楽部が全日本吹奏楽コンクールで金賞を受賞したが、部活動などでの活躍も積極的に公開していくべきだと思うが、どのように考えるか。
- (7) 児童・生徒のページを作り、子どもたちから情報発信することでホームページに魅力をもたせる事もできると思うが、どのように考えるか。

1. 羽村駅西口区画整理事業の見直しは急務だ

- (1) 地権者の意見はどれだけ換地案 (設計図) に反映できたのか
 - ① 換地案の決定にむけたプロセスで、地権者何人から意見書が出されたか。そのうち、何人分が採用され、何人分が不採用になったか。
 - ② 不採用になった意見のうち、数の多いトップ 3 はどのような内容か。
 - ③ 不採用になった地権者に換地案を納得してもらうために、市はこれまで何をしたのか、これから何をするのか。
 - ④ 換地案には、多くの地権者の意見書の内容が反映できなかったと考える。その原因は何だと市は考えているか。

12 月 4 日

(2)新しく出された事業計画について

- ①予算の総額が355億円から370億円へと増えている。その原因となっている額の大きいトップ3は何か。今後、さらに予算が膨らむことはないのか。
- ②今年は約4億円を区画整理事業に使っている。ところが、4年後の平成29年度には、59億円の市のお金を使う計画となっている。どうやって資金を調達する考えか。
- ③平成33年度に事業が完了する計画は現実的だと考えているか。

**2. 公共料金の値上げストップを②
国保税について**

(1)被保険者の状況について

- ①被保険者の平均所得はいくらか。
- ②所得はどう推移しているか。特に、平成24年度の税制改正の影響を除くとどうか。
- ③所得100万円、200万円以下の世帯は、全体の何パーセントを占めるか。どう推移しているか。

(2)羽村市の国保について

- ①羽村市の一人当たりの医療費は、多摩地域でどの位のランキングか。どう推移しているか。
- ②羽村市の国保税の税率は、多摩地域でどの位のランキングか。
- ③次の世帯のケースでは、西多摩の自治体の中で羽村市の国保税のランキングはどうか。
 - ・夫婦2人のみ・65歳、年金収入のみ所得100万円、固定資産なし
 - ・夫婦40歳・子ども2人(中学生1人、小学生1人)の4人家族、夫の収入のみ所得200万円、固定資産なし

(3)国保会計の状況について

- ①医療費の伸びが鈍化したことにより、一般会計からの赤字補てん額は、今後どう推移すると見ているか。

(4)国の課税限度額アップ、低所得者対策の拡充について

- ①国が示している対策により、低所得者対策の対象者は何人増えるか。
- ②制度の改定により、羽村市国保財政への影響はどうか。

(5)負担増が多く計画されているもと、国保税は引き上げるべきでないと思えるがどうか。

3. 生活保護改悪の影響をくいとめよう

(1)生活保護受給世帯の保護費減額の影響額はどうか、世帯モデル毎に示して欲しい。削減に関して、市民からどういう声が寄せられているか。

(2)青梅市や福生市と比べて低い生活保護額となっている羽村市では、上下水道料金の補助金などを復活する必要がある大きいと考えるが、市の考えはどうか。

11 人目

17 番

門 問 淑 子
(60 分)

- (3)生活保護費の削減により、影響をうける制度はいくつあるか。それらの対応はどうとられるのか。
- (4)特に、就学援助制度への影響に対しては、これまでの基準では受けられるはずだった世帯が外れてしまうことのないよう対策をとる必要があると考えるが、市の考えはどうか。
- (5)北日本コンピュータ・システムの生活保護システムを使っている自治体で、親族による扶養義務が生活保護の「前提となっている」とする生活保護法に反する通知書と、親族の収入や資産、勤務先などの報告を求める調査書を送り付け、申請を断念させていたことが問題となっている。厚労省は調査書の「可及的速やかな改善」を全国の自治体に指示した。羽村市では、これまでどういう対応がとられてきたか、また、今後はどう変わるのか。

1. 西口土地区画整理は抜本的見直しを

- (1)10月17日の羽村駅西口区画整理反対の会ニュースでは、第2次換地設計案に対する反対署名は425名とのことだが、反対署名数は現在何名か。
- (2)縦覧された事業計画案は、期間・資金共に実現不可能と考える。どのような見通しを持って策定したのか。
- (3)東日本大震災の復旧・オリンピック開催・消費税の値上げなどにより、今後、建設工事の事業単価の値上がりが懸念されるが、総事業費に影響はないか。
- (4)区画整理事業は白紙に戻し、西口駅前の整備に止めてはどうか。

2. 図書館基本計画の策定を

- (1)図書館基本計画を策定し、図書館の役割を明確にすべきではないか。
- (2)図書館協議会の定例会を増やすよう答申が出ているが、どのように受け止めているか。
- (3)資料や雑誌の購入を、さらに増やしてはどうか。
- (4)分室は廃止するのではなく充実させ、地域の拠点としての使い方を検討してはどうか。
- (5)図書館職員(臨時職員も含む)の研修はどのように行われているか。
- (6)館長は、司書資格をもつ専門職として配置してはどうか。

3. 寡婦控除の「みなし適用」について

- (1)非婚のひとり親世帯に対する寡婦控除のみなし適用について、羽村市の検討状況はどうか。
- (2)みなし適用をした場合、対象となる事業数はどれほどか。

12月5日

12 人目

15 番

水 野 義 裕
(60 分)

1. いじめ防止対策

(1) いじめの現状について

- ① 現在いじめの情報について、各小中学校から報告を受けているか。
- ② 報告を受けているとしたら、その対応はどうか。

(2) 法への対応について

- ① 基本方針が策定されているようだが、どのようなものか。
- ② それを現場にどのように周知するか。
- ③ 滋賀県大津市をはじめ、条例化した自治体もあるが、市の考えは

2. オープンガバメント（透明で住民に開かれた行政）への取り組みは

(1) オープンガバメントについて、市はどのように考えているか。

問題があると考えたら、それはどんなものか。

(2) 住民参加を促進する意味でも、積極的に取り組んではどうか。

(3) 広報について

- ① 公式サイトで提供されている情報は、同一記事が重複掲載されていたり、内容が最新でなかったりすることがあるが、その原因と対策は。
- ② 「広報はむら」の「カレンダー」への掲載基準はどうか。

3. 羽村駅西口土地区画整理事業計画書(案)について

(1) このような計画を提出せざるを得なかった背景は何か。

(2) それはどのように市民に説明したか。

(3) 実現の可能性がある計画を、早期に立案すべきだと考えるがどうか。

12 月 5 日

13 人目

11 番

馳 平 耕 三
(60 分)

1. 市内の障害者雇用をより促進すべき

(1) 市内の従業員が 56 人以上の企業のうち、法定雇用率を達成している企業は何%か。また、達成できていない企業のうち、障害者を 1 人も雇用していない企業は何社あり、何%にあたるか。

(2) 羽村市の障害者の実雇用率は何%か。また、障害者の雇用を増やす考えはないか。

(3) 羽村市障害者支援センター「エール」の実態と羽村市の連携のあり方を問う。

- ① 羽村市と「エール」は、現在どのような連携を行っているか。定期的に報告があり連携して障害者雇用に対応をしているか。
- ② この 5 年間の「エール」の登録者数との雇用達成者数はそれぞれどう変化したか。
- ③ ②の中で、年間 200 万円を超える就労となっている件数は何件あるか。

12 月 5 日

14 人目

1 番

印 南 修 太
(45 分)

- ④「エール」は社会保険労務士とどのような連携をしているか。
- (4)教育の分野にも障害者の視点は欠かせない。自治体の中でも教育委員会のメンバーとして障害者に参加していただく例が増えている。教育委員や学校評議員の中に、障害のある方に入っただき、より広い視点から教育施策を展開する考えはないか。
- 2. 羽村市の行政文書管理の実態とその考え方を問う**
- (1)「公文書管理に関する法律」制定や、行政文書の管理に関するガイドラインが示された後、羽村市の行政文書に関する扱いはどう変化したか。
- (2)現状では、行政文書の保存・廃棄は、具体的にどのような基準で行っているか。また、部課、個人によってその差異はないか。
- (3)行政文書の保存に対して、そのスペースは現状ではどのように確保しているか。
- (4)羽村市では、今後公文書館やそれに代わるものを設置する考えはないか。
- (5)羽村市ではアーキビストの養成についてどのような考えを持っているか。
- (6)貴重な行政文書の廃棄には、第三者がチェックできる仕組みを作るべきだと考えるがどうか。
- (7)市民生活に重大な影響を与える内容が検討される会議においては、発言者の氏名を記録した会議録を作成する必要があると考えるが、羽村市、羽村市教育委員会はどう考えるか。
- (8)行政文書のマイクロフィルム化についてどう考えているか。
- (9)行政文書管理条例の策定は、職員誰もがわかりやすく実行しやすく、市民の貴重な財産である行政文書を管理するために必要だと考えるが、市はどう考えているか。

1. 新たな市民サービスの提案について

- (1)産業福祉センターの活用法について
- ①利用者を増やすために、ビジネス関係の情報を集約し、求人コーナーやセミナー情報を掲示してはどうか。
- (2)女性の再就職支援セミナーについて
- ①過去の参加状況と反響はどうか。
- ②企画・宣伝などで民間団体と連携を図ってはどうか。
- (3)マタニティマークについて
- ①マタニティマークを、母子手帳と一緒に配布できないか。

12 月 5 日

1. 区画整理撤回要求 第 27 弾

(1) 事業費年間負担 59 億円！本気ですか？

- ① 事業計画変更（案）の公告縦覧が不親切だった。住民の声を聞く姿勢が欠けていないか。
- ② 事業計画変更（案）で、何が変わったか。
- ③ 市費負担 27 年度、26 億円。28 年度 49 億円。29 年度 59 億円。
資金の裏付けと、工事予定を聞く。
- ④ 25 年度、26 年度、27 年度の実施計画を聞く。
- ⑤ 変更（案）の今後の審議プロセスを聞く。
- ⑥ 仮に事業計画変更が認可されたら 33 年度までに事業完了させるのか。
- ⑦ 事業期間、事業費の見直し変更は、公告・縦覧、意見書提出の対象か。
- ⑧ ありえない事業期間、事業費で当然、見直しが必要だ。その条件、時期はいつか。
- ⑨ 先行取得地に黒シートが敷かれ美観を損なっている。有効利用が出来なかったのか。

2. 「読書は預金、知識は利息」図書館活性化を聞く

(1) 図書館のさらなる活性化を聞く

- ① コンピュータシステムの変更点とその目的は何か。
- ② 読書手帳が発行された。その目的と効用を聞く。
- ③ 市民への PR はどのようにしているか。
- ④ 貸出記録など、個人情報はどのように保護されているか。
- ⑤ システム変更や読書手帳で、どのくらいの登録者、貸し出し増加を目標にしているか。
- ⑥ 蔵書、電子情報などを活用し市民活動支援、商店街や地域産業の活性化の企画は出来ないか。
- ⑦ 所蔵映像とネットワークの活用で、羽村の伝統文化紹介は出来ないか。
- ⑧ 生涯学習を進める市民も多い。談話スペースなどの環境整備は考えられないか。